

プログラム名：ラーニング・サポーター・プロジェクトにおける活動

責任者：看護学部 准教授 大久保 牧子

共同者：小野 智南

▼事業の概要（背景・目標）

この活動は、地域で子どもの学びを支える活動「ピアいび」サークルの一環である。具体的には、ピア（仲間）と心を通わせながら、活動の基本となる「共有・共感」スキルの向上と、活動の環境調整を図ることを目的とした。



▼事業の内容（方法・経過）

【ラーニング・サポーター・プロジェクト】

2019年度から滝沢市とラーニング・サポーター・プロジェクトの契約を結んでいる。学習支援者（ラーニング・サポーター）として、滝沢東小学校、滝沢第二小学校、滝沢第二中学校において、「個人差に応じた学習支援」や「保健室業務補助」等を行い、子どもたちの学びや学校生活を支える活動を実施した。



【ピアヘルパー講座】

ピアいびは、県内各地の中学校・高校で思春期保健授業のピアヘルパーとして活動するサークルである。また、ラーニングサポート事業は、教員志望の学生が学習支援を行う活動である。



以上のことから、児童生徒との信頼関係が構築できるコミュニケーションスキルを持って、活動に臨むことが求められている。

そこで、カウンセリングに関する基礎的知識の習得とコミュニケーションスキルの向上を目的として、本研修を実施した。

<内容>

講義「カウンセリングの理論」

演習「カウンセリングスキル」、「ピア活動の体験」

▼事業の成果（結論・考察）

子どもたちとのコミュニケーションの取り方に不安感があった学生にとって、ピアヘルパー講座は良い学びの場となった。

ラーニング・サポーター活動に参加した学生からは、教育現場での体験を通して、大学の学びを深めることができたとの感想があった。

子どもの学習や活動をサポートするボランティア活動を通して、子どもの発達段階や心理状態の理解につなげ、教職員の多様な仕事についての理解を深めることができた。

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

子どもの学習や活動をサポートするボランティア活動を通して、子どもの発達段階や心理状態の理解につなげ、教職員の多様な仕事についての理解を深めることができた。

今後も、滝沢市の担当者と相談しながら、市内小中学校のニーズに応じた活動を展開できるよう検討していきたい。